



< 2010-11 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- [1つ後の記事](#)
- [1つ前の記事](#)
- [新着記事](#)
- [月間記事アーカイブ](#)

## 「住」から障害者支援 花巻で学習会 (11/01)



花巻市主催の障害者居住支援をテーマにした学習会が31日、同市石神町の市総合福祉センターで開かれた。市内外から福祉関係者らが参加し、障害のある人が安定した地域生活を送るための基盤になる「住」の支援について学んだ。

国の施策に沿った市居住サポート事業立ち上げ支援で、同市湯口のこぶし相談室が企画運営。約30人が参加して、講演や状況報告などが行われた。

このうち講演では、宮城県のNPO法人・みやぎこうでねいとの齋藤宏直理事長が「仙台市における障害者居住支援」のテーマで講演。入居サポートセンターの開設や情報誌の発刊、入居後の支援など、包括的な生活サポートを軸とした活動の理念や現状などについて話した。

居住支援活動の発端について、齋藤理事長は「一般と同じように障害者向けの住宅情報誌があればと考え、発刊したら1週間で完売した。花巻でもニーズはあるはずだし、空いているアパートや理解ある大家さんは必ずいるはず」と話し、需要と供給を満たすシステムの必要性を力説。その上で、物件の所有者から数部屋を同NPOが丸ごと借り入れ、各部屋の入居状況に応じて契約を結ぶ「セーフティーアパート」の方式などについても話した。

齋藤理事長は「あらかじめアパートを確保してあれば、契約担当者の負担を減らすことができる。実際に物件があれば、セーフティーアパートを活用したシェルター(緊急避難住宅)の運営などにも対応できる」と、生活支援の根幹を成す「住サポート」の重要性を強調。建物にかかわる世話人も地元雇用することで「すべてを地域で賄う、本来の地域サポートが可能になる」などと語った。

講演後は、本県の相談支援専門員やソーシャルワーカー、不動産業者らと交えた報告や意見交換も行われ、参加者は、より良い地域移行や居住支援の在り方を学んでいた。

【写真】障害者居住支援をテーマにした学習会で講演する齋藤理事長

### 関連記事

powered by weblio

- [障害者アート内の学校で巡回展 るんぴにい美術館・花巻 \(10/23\) \(10/23\)](#)
- [盗難防止に二重ロック 自転車に啓発荷札～花巻東高生ら \(10/07\) \(10/07\)](#)

### 【PR】

**保険**  
自動車保険  
死亡保険  
生命保険

**自動車**  
中古車査定  
自動車免許  
中古車探し

《グリナ》半額キャンペーン  
愛用者30万人！「グリナ半額」  
www.ajinomoto-ff.com

※**コーヒーの資格を取る**  
コーヒー通信講座がお勧め！  
www.catalog-shopping.co.jp

**毛穴が開いている人、限**  
「本当に毛穴が目立たなくなっ  
www.sokamocka.com

**めざせ！ リッチな生活**  
ネットで稼ぐには、情報こそが。  
www.nexyzbb.ne.jp